

日米共同方面隊指揮所演習（ヤマサクラ）に反対しよう！

池田五律

「日米共同方面隊指揮所演習」（ヤマサクラ）が、一月下旬から二月上旬にかけて、陸上自衛隊朝霞駐屯地で行われる。既に、訓練用地が、日米地位協定に基づいて提供されることが日米合同委員会で決められた。

これまでのヤマサクラからすると、日本側は東部方面隊を中心に三〇〇〇人程度、アメリカ側は陸軍第一軍団を中心に一五〇〇人程度が参加すると思われる。二〇〇四年に朝霞駐屯地で行われたヤマサクラには、イラク戦争に参加した沖縄駐留の海兵隊も参加した。その際には、イラク派兵直前の北部方面隊も参加した。そのことからしても、「指揮所演習」といっても、極めて実戦的なものであることは明らかである。

「指揮所演習」というのは、与えられたシミュレーションに基づいて参加者がウォー・ゲームを行うものだ。参加者数からすれば、小隊長クラスも参加する。將軍たちの戦争ゲームではないのである。統裁官が参加者に想定全体の一部の情報を個々の参加者に与える。その情報から判断して妥当な対応をしないと、ゲーム空間上であるとはいえ、部隊は殲滅されることになる。そしてその結果が「おおむね良」などと評価されるのだから、参加者にとっては切実だ。しかも、その評価には、第一軍団の「戦闘指揮訓練プログラム」といわれる組織が関わる。

想定自体は、新潟に某国部隊が上陸し、関東平野を東京に進撃しつつある中、それを迎え撃つて殲滅するといった荒唐無稽なものである。しかし、個別部分は、極めてリアル。最近加えられたものでは、米軍を援護しつつ自衛隊が前進し、自衛隊を援護しつつ米軍が進撃する「超越」といったものがある。集団的自衛権行使はシミュレーションの中では、既成事実なのだ。西部方面隊を中心に行われたヤマサクラでは、「国民保護」も想定に加えられる、自治体の危機管理担当者までもがオブザーバー参加した。

朝霞には、座間に移転する予定の中央即応集団司令部もある。第一軍団

前方司令部の座間移転、相模原への「戦闘指揮訓練センター」設置とも連動した訓練になる可能性もある。

今のところ、以下のような反対の取り組みを準備している。

首都圏、全国からの反対の取り組みへの参加を訴える。

（いけだ・いつのり）戦争に協力しない！させない！練馬アクション

* * * *

◇どうなる日本の政治 どこへ向かう日米安保

日米共同軍事演習（ヤマサクラ） 反対！11・15討論集会

[日時] 一月二五日（土） 一八：〇〇開場

[場所] 豊島勤労福祉会館（4階・第3会議室）

[問題提起]

木元茂夫「テロ特措法・インド洋派兵を神奈川・横浜賞から問う」

◇日米共同軍事演習（ヤマサクラ） 反対！ 海外派兵をやめろ！

つぶせ！共謀罪 11・30池袋デモ

[日時] 一月三〇日（日） 一四：〇〇 東池袋中央公園

[主催] 「日米共同軍事演習（ヤマサクラ）反対！ 海外派兵をやめろ！

つぶせ！共謀罪 11・30池袋デモ実行委員会」連絡先：03・3961-

0212（北部労法センター）

◇日米共同軍事演習反対！11・24練馬現地集会（仮）

[日時] 一月二四日（月） 一四：〇〇（予定）

[場所] 区立大泉公園（予定）（西武池袋線大泉学園下車・南口からバス

で朝霞方面へ 風致地区下車）

[主催] 同集会実行委員会 問合せ先：練馬区職員労働組合（03・39993-

5404）